

会員短期大学

理事 長 殿
学 長 殿
教 職 員 殿
事務局 長 殿
入試広報担当者 殿

日本私立短期大学協会
会 長 佐 藤 弘 毅
広 報 委 員 会
委員長 酒 向 登志郎
(公印省略)

第10回「私立短大入試広報担当者研修会」開催について（通知）

標記の研修会を別紙実施要領の通り、来る5月17日（月）～19日（水）の3日間、大阪市「大阪ガーデンパレス」を会場として開催いたします。

学務ご多忙の折柄とは存じますが、貴学入試広報担当者をはじめ、他教職員の方々の多数ご参加を賜りたくご通知申し上げます。

◎同封書類

1. 第10回「私立短大入試広報担当者研修会」実施要領（本紙）
2. 研修会「参加申込書」（みほん）※

※本研修会は、参加申込処理等を迅速に行うため、電子媒体及びEメールを用いてお申込みください。

まず、①本協会ホームページから申込書ファイル（MS-Excel）をダウンロードし、②必要事項をパソコン入力の上、③本協会宛にEメールにて申込書を添付し、お申込みください。

なお、申込書の入力方法、送信方法に諸注意がございますので、詳細は後述の「研修会参加費納入及び参加申込み方法について」、「参加申込み手順について」等を必ずご参照ください。

参加申込締め切り期日

4月19日（月）〔必着〕

第10回「私立短大入試広報担当者研修会」実施要領

主催 財団法人私学研修福祉会
協力 日本私立短期大学協会

研修会開催の目的

短期大学における志願者減少傾向の中で、全学をあげて多方面にわたる広報活動は勿論のこと教育内容の見直しについてもその改善が求められている。入試広報担当者として受験生やその保護者、高校教員に対する広報努力に不十分なところはないか、学生募集の方法や実行に空回りはないか、広報の仕方や広告に関する新しい知識や技術の修得が現状を把握して実践されているか等を、再考してみる必要に迫られている。

本研修会の目的は、問題意識を会員校の広報担当者が共有し、現状に即した情報を交換し、自由討議中心の能動的参加型の研修によってそれぞれの力量を高め、入試広報の成果を期することにある。あわせて、入試広報担当者がアドミッションポリシー等の政策提言能力を向上させ、それぞれの短期大学に積極的に関わり、さらに情報発信力を養うことを目的とする。もとより、情報発信力を養うと同時に、短期大学の発信する内容をふりかえることができることはそれ以上に重要である。

今回、事例報告では「プレスリリースから見えてくるもの」をテーマに、“広報（発信）”と“入試広報（募集）”の関係、短期大学としてのプレゼン力（広報力）、リリース後の対応（質問予測能力と対応広報担当者）、学内組織づくり等々について、発信側（短期大学）、受信側（高等学校）、メディア側（マスコミ等）からそれぞれ異なった視座からご高話いただき、分科会でもワークショップなど実践的なプログラムを取り入れ熱のある検討討議をしていく。

ふるってご参加いただきたい。

研修会概要

- 開催期日 平成22年5月17日(月)～19日(水)の3日間
- 会場 大阪市「大阪ガーデンパレス」
〒532-0004 大阪府大阪市淀川区西宮原1-3-35
電話：06-6396-6211 FAX：06-6396-6220
(10頁「会場交通案内」参照)
- 参加資格 私立短大の入試広報(学生募集)担当者および研修内容にご関心の教職員の方々とします。
- 参加経費 全日程で1人29,900円(参加費、情報交換懇談会費、昼食代及びコーヒー代を含む)
- 申込方法等 11頁「研修会参加費納入及び参加申し込み方法について」、
12頁「参加申し込み手順について」をご参照ください。
- 申込締切期日 平成22年4月19日(月)〈必着〉
- 宿泊 本研修会に伴う宿泊の斡旋はいたしません。会場の「大阪ガーデンパレス」に、優先的に宿泊ができるよう特約してあります。
ご希望の方は、「私立短大入試広報担当者研修会」の参加者であることを申し添えて、4月末日までに、後述「大阪ガーデンパレス」に直接電話にてお申し込みください。
なお、収容定員に限度がありますので、早めにお申し込みください。
また、各自適宜、市内のホテル等をご予約いただいても結構です。
- <宿泊申込先>
「大阪ガーデンパレス」
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35
電話：06-6396-6211 FAX：06-6396-6220
- <宿泊費用>
シングルルーム 6,400円
- <朝食費用>
バイキング形式 1,050円
- ※上記料金は本研修会における特別料金で、税・サービス料込みの金額です。
- その他
- (1)研修会の受付は、5月17日(月)12時30分より、会場「大阪ガーデンパレス」2階「桜桐」前のロビーにて行います。
 - (2)研修会第1日の18時より、「情報交換懇談会」を行います。冒頭は分科会ごとに進めますので、全員ご出席ください。
 - (3)分科会での相互理解の促進のため、所属校の募集要項、学校案内等を二部ご持参ください。(分科会会場の一角に展示用のテーブルを用意する予定です。また、ワークショップで使用することもあります。)
 - (4)研修会期間中、各会場内は禁煙にさせていただきます。
 - (5)各会場内においては、携帯電話の音が鳴らぬよう各自ご配慮願います。

研修会内容

■ 基調講演

「入試広報から短期大学を変える — 経営者からの視点 —」

目白大学短期大学部 理事長・学長 佐藤 弘毅 氏

〔内容〕

本研修会の第1回開催から第9回開催まで広報委員会委員長として本研修会の運営に関わられた佐藤弘毅先生より、短期大学の現況とこれから、そして、いかに入試広報から短期大学を変えていくのかについて、経営者からの視点も交えご高話いただきます。

なお、佐藤先生は昨年1月に出された本協会の報告書『短期大学教育の再構築を目指して — 新時代の短期大学の役割と教育機能 —』のまとめに際し中心的に関わられており、本基調講演においても、本報告書の内容に一部触れていただきご高話いただく予定です。事前にお目通し頂ければ幸いです。

本報告書は、報告本体（全文）、概要版、チャート図の3点が、本協会の下記URLの「協会サイト」より、PDFデータでダウンロードできるようになっております。

「協会サイト」トップページ <http://www.tandai.or.jp/kyokai/>
より、「総会・役員会」を選択いただき、下記記事をご参照ください。

〔ご報告〕

「短期大学教育の再構築を目指して」 — 新時代の短期大学の役割と機能 —
について（ご報告） 2009/01/16

■ 講演

「大学入学者選抜実施要項の改正について」

文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室担当官

〔内容〕

AO入試をはじめ入学者選抜方法が多様化し、その問題点も指摘されています。高等学校の教育現場の状況を鑑み、いま短期大学のアドミッションポリシーを明確にすることが問われています。今般、文部科学省において大学入学者選抜実施要項の改正が行われ、入学試験の内容について再考し、深く議論することが求められているところです。

今回は文部科学省高等教育局大学振興課大学入試室の担当官から直接ご高話いただき現状認識を深めます。

■ 事例報告

「プレスリリースから見えてくるもの」 — 送信・受信・メディア —

1. 「短期大学を選択する理由（わけ）」

大阪府立狭山高等学校 教諭
大阪府進路指導研究会 事務局長 藤瀬 淳 氏

2. 「プレスリリースと大学」

読売新聞大阪本社 科学部記者 矢澤 寛茂 氏

3. 「募集対策と学内情報の発信」

近畿大学短期大学部

入学センター 入試広報課 課長補佐

加藤 公代 氏

〔主な内容〕

- ・ 「入試広報」と「広報」との関係
- ・ いつ、誰に、何を、どのようにリリースするのか
- ・ 発信する相手先とリリースする内容
- ・ 短期大学としてのプレゼン力（広報力）
- ・ リリース後の対応（質問予測能力と対応広報担当者）
- ・ 学内組織づくり

〔進め方〕

事例報告を中心に、質疑応答も交えながら進める予定です。

■分科会

入試制度、広報・広告、広報予算、高校訪問、オープンキャンパス、等々について

〔進め方〕

分科会毎に討議、意見交換及びワークショップを行います。

〔編成方法〕

分科会の編成につきましては、学校の規模、地域等を考慮し、運営委員会において行いますので、予めご承知おきください。

〔主な討議テーマ〕※

- ・ 高等学校の進路を考える
- ・ 短期大学入学試験制度
- ・ 高校訪問の目的
- ・ Open Campus とは
- ・ アドミッションポリシーから
- ・ 地域性から考える短期大学
- ・ 高校生から何を学ぶか
- ・ 高校の教員から教えられたこと
- ・ 情報管理とデータの有効利用
- ・ 具体的なリリースリーフの作成方法

（例えば、具体的に他短大のパンフレットを使い、リリースリーフを作成し相互評価をするなどのワークショップ）

※ すべてを順番通り、また網羅的に取り扱うものではありません。

ただし、特に議論もしくは質問したい内容がございましたら、予め参加申込書の末尾のアンケート・連絡事項「 3）その他連絡事項」欄にその旨お示しくださいませ幸いです。

運営委員（指導員）

酒 向 登志郎	立教女学院短期大学	理事長・学長〈委員長〉
落 谷 正 教	大阪女学院短期大学	アドミッションセンター長〈副委員長〉
永 井 秀 樹	帯広大谷短期大学	事務局長
高 木 明 郎	国際短期大学	学長
岩 井 絹 江	東京家政大学短期大学部	進路支援センター部長
土 橋 正 文	和泉短期大学	事務局次長
六 浦 政 人	一宮女子短期大学	入試広報課 課長補佐
山 田 純	大阪城南女子短期大学	広報室 主任

（平成22年3月現在、順不同・敬称略）

日程

日時：平成22年5月17日（月）～19日（水）

会場：大阪市「大阪ガーデンパレス」

1日目 5月17日（月）

事項	時間	担当・内容	会場・備考
受付※1	12:30～13:00	事務局	全体会場前ロビー
開会挨拶 オリエンテーション	13:00～13:30	酒向 委員長	全体会場
全体会 基調講演 〔テーマ〕 「入試広報から短期大学を変える — 経営者からの視点 —」 質疑応答	13:30～15:40	〔講師〕 目白大学短期大学部 理事長・学長 佐藤 弘毅 氏	同上 〔備考〕 全体会の座席は、プログラムの 運営上、5～6人/1テーブルを会 場内に配置した形式とし、指定さ れたテーブルにご着席いただく 予定です。
休憩	15:40～16:00		
全体会 講演 「大学入学者選抜実施要項の 改正について」	16:00～17:00	〔講師〕 文部科学省 高等教育局大学振興課 大学入試室 担当官	同上
全体会 分科会研修オリエンテーション	17:00～17:30	〔内容〕 3日間、研修会で有意義な時を過ごす為 に、アイスブレイキングなどでリラックス。 名刺のご用意を。	同上
休憩	17:30～18:00		
情報交換懇談会※2	18:00～19:30		

※1 研修会初日に、会場受付にて、短大名、お名前をお申し出のうえ受付をお済ませください。

※2 情報交換懇談会は立食形式。開始時は分科会ごとに指定されたテーブルへ集合いただきます。

2日目 5月18日(火)

事 項	時 間	担 当・内 容	会 場・備 考
全体会 事例報告 [テーマ] 「プレスリリースから見えてくるもの — 送信・受信・メディア —」	9:30～12:00	・大阪府立狭山高等学校 教諭 大阪府進路指導研究会 事務局長 藤瀬 淳 氏 ・読売新聞大阪本社 科学部記者 矢澤 寛茂 氏 ・近畿大学短期大学部 入学センター 入試広報課 課長補佐 加藤 公代 氏 [内容] ・「入試広報」と「広報」との関係 ・いつ、誰に、何を、どのようにに発信するの ・発信する相手先とそのリリースする内容 ・短期大学としてのプレゼン力(広報力) ・リリース後の対応 (質問予測能力と対応広報担当者) ・学内組織づくり [進め方] 前日着席したテーブルごと的小グループで事例報告を受け討議を行います。	全体会場
昼 食・休 憩	12:00～13:30		同上
分科会 1 [主な討議テーマ]※3 入試制度、高校訪問、 オープンキャンパス、広報・広告 [討議テーマ参考例] ・高等学校の進路を考える ・短期大学入学試験制度 ・高校訪問 の目的 ・Open Campus とは ・アドミッションポリシーから ・地域性から考える短期大学 ・高校生から何を学ぶか ・高校の教員から教えられたこと ・情報管理とデータの有効利用 ・具体的なリリースリーフの作成方法 (例えば、具体的に他短大のパンフレットを使い、リリースリーフを作成し相互評価をするなどのワークショップ)	13:30～15:00	[内容] 各分科会に分かれて討議、意見交換及び共同作業を行います。 運営委員	各分科会場
休 憩※4	15:00～15:30	(コーヒーブレイク)	
分科会 2	15:30～17:00	同 上	

※3 すべてを順番通り、また網羅的に取り扱うものではありません。

※4 討議の進行状況により休憩の時間は多少前後することがあります。

3日目 5月19日(水)

事 項	時 間	担 当 ・ 内 容	会 場 ・ 備 考
分科会 3 [主な討議テーマ] 入試制度、高校訪問、 オープンキャンパス、広報・広告 [討議テーマ参考例] ・明日の短期大学を考える ・高等学校の教員を味方に ・保護者へのアプローチ ・広報・広告その費用対効果は ・短期大学、その存在意義 ・今回の研修会から得られたもの	9:30～10:45	前日の続き	各分科会場
休憩・会場移動	10:45～11:00		
全体会 総括(まとめ) 閉 会	11:00～12:00	各分科会からのまとめの共有 [内容] 各分科会にて行われた討議、意見 交換の総括を全体にて行います。 運営委員	全体会場

大阪ガーデンパレス アクセスマップ

HOTEL, BANQUET& RESTAURANT

大阪ガーデンパレス

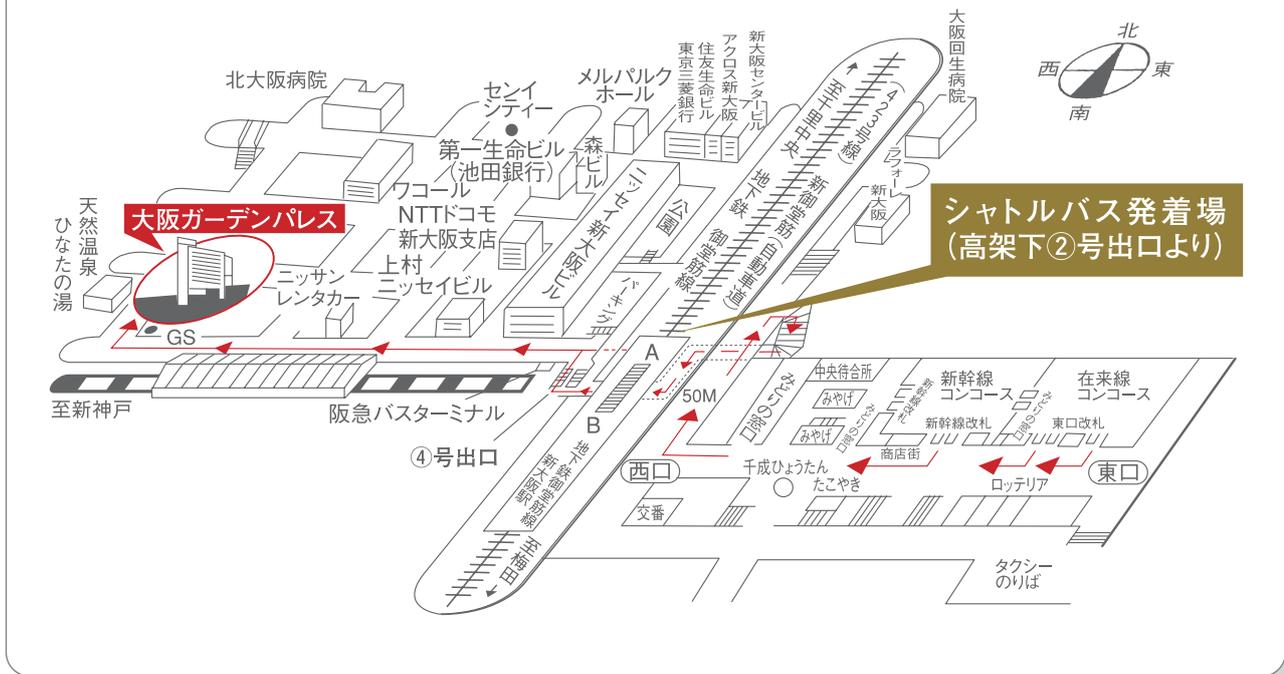
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原1-3-35

TEL06-6396-6211

FAX06-6396-6220

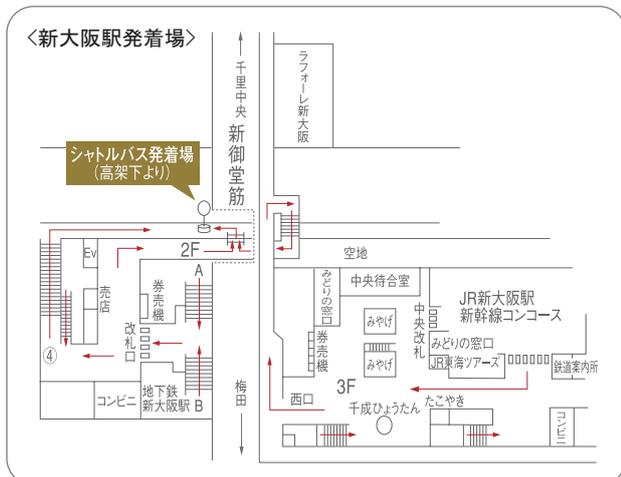
新大阪駅よりのご案内(シャトルバス・徒歩)

(地下鉄・新幹線・東海道本線)



大阪ガーデンパレスシャトルバスのご案内

- 地下鉄御堂筋線をご利用の場合
地下鉄ホームA・B階段を降り、改札口を出て右へ、②号出口階段を降りてすぐ左側です。
(梅田方面からは最前部、千里方面からは最後部の車両が便利です。)
徒歩の場合④号出口より約8分
- 新幹線・東海道本線をご利用の場合
3階中央改札口を出て右へ約300M直進し、西口を出て右へ自動車専用道路沿いに直進、
約50M先右側の連絡階段を降り、地下鉄②号出口階段を降りてすぐ左側です。
徒歩の場合西口より約10分



時刻	新大阪駅発	ホテル発
7時	40・55	30・45
8時	10・25・40	00・15・30・50
9時 ～ 21時	00・20・40	10・30・50
22時	00・15・30・45	05・20
23時	00	

- ・所要時間は約3分ですが交通渋滞等により遅れる場合があります。
- ・満員の際は次便をご利用ください。

研修会参加費納入及び参加申込み方法について

「参加費」の納入は銀行振込みにより、財団法人私学研修福祉会宛にご送金ください。

「申込書」は日本私立短期大学協会宛にEメールにてご送信願います。

1. 参加費の納入方法

- (1) 参加費は全日程で1人29,900円です。下記にお振込みください。

銀行名・支店名：三菱東京UFJ銀行 神田支店
口座の種類・口座番号：普通 1225036
口座名：財団法人私学研修福祉会 <small>ざいだんほうじん しがくけんしゅうふくしかい たんだいくち</small> （短大口）

- (2) 前記の銀行口座にお振込みの際、必ず「依頼人」欄には、**短期大学名を明記**してください。
- (3) 参加者が2名以上の場合は、一括してお振込みください。
- (4) 日本私立短期大学協会からの領収書は発行いたしません。
- (5) 一度納入された参加費は原則として返還いたしません。振込後に欠席される場合には、研修会終了後、当日配布資料の発送をもって代えさせていただきます。

2. 参加申込み方法

- (1) 申込処理等を迅速に行うため、本研修会の参加申込みは電子媒体及びEメールを用いてお申込みください。

まず、①本協会ウェブサイトを開き、【広報委員会】の本研修会ご案内ページから、申込書ファイル（MS-Excel）をダウンロードし、②必要事項をパソコン入力のうえ、③本協会宛にEメールにて申込書を添付して、お申込みください。

本協会ウェブサイトURL <http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

なお、申込書の入力方法、送信方法に諸注意がございますので、詳細は後述の「参加申込み手順について」を必ずご参照ください。

- (2) 申込書には、参加費納入確認を円滑に行うため振込み手続きに利用される「金融機関名・支店名」「参加費振込日」を入力する欄があります。申込書の入力に先立ち、参加費の振込み手続きをお願いいたします。なお、学内の事務手続きの関係で振込みが遅れる場合は、その旨を通信欄に入力し、「参加費振込日」には振込予定日を入力してください。
- (3) 参加申込み締切り期日は、平成22年4月19日（月）〈必着〉です。厳守願います。
- また、申込みが締切り期日より遅れる場合は、必ず事前に事務局までその旨をご連絡ください。

本研修会に関する連絡・問い合わせ先

日本私立短期大学協会 事業課 担当：金成かなり（E-mail：koho-kenshu@tandai.or.jp）

TEL 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950

第10回「私立短大入試広報担当者研修会」 参加申込み手順について

日本私立短期大学協会

研修会の参加申込みにつきましては、本文書をご一読のうえ、お申込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

参加申込み手順

所定の申込書ファイルをダウンロードして、必要事項を入力の上、Eメールに添付してお送りください。
なお、**申込み期限は平成22年4月19日(月)〈必着〉**です。

1. 申込書データファイルのダウンロード

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

1. 申込書データファイルのダウンロード

(1) 日本私立短期大学協会のWebサイトの下記URLにアクセスする。

<http://www.tandai.or.jp/kyokai/>

(2) 申込書データのダウンロードページを開く

さらに、【広報委員会】ページ、そしてその中の、【第10回「私立短大入試広報担当者研修会」開催について(通知)】ページにアクセスすると、研修会の案内及び申込書のダウンロードページが表示されます。

(3) 申込書データをダウンロードする

申込書は、Excel形式のデータファイルとなっております。
※Internet Explorerの場合、リンク先を右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択し、ご自身のパソコンの任意のフォルダへ保存してください。

2. 申込書データファイルへの入力

2. 申込書データファイルへの入力

(1) シート構成

申込書データファイルは以下の3シートで構成されています。なお、ブック及び各シートは「保護」を設定していますので、項目や書式の変更はできません。

① 「はじめに(必読)」シート

このシートの内容を確認のうえ、データ入力してください。

② 「申込書」シート

このシートに必要な事項をすべて入力してください。

③ 「事務局用(無視)」シート

このシートはデータ回収後に事務局が使用するためのものなので、無視してください。

※自作ファイル、もしくは流用作成したファイルでのお申込みは一切お断りいたします。

(2) 複数人お申込みの場合

お二人以上でお申込みの場合は、1名につき1ファイルで申込書データファイルを作成してください。

3. 申込書データファイルの送信
koho-kenshu@tandai.or.jp

3. 申込書データファイルの送信

(1) 申込書データのファイル名を変更する

ファイル名は元のファイル名（nkken22）の後に、短大名を付加してください。なお、複数名申込みの場合のみ短大名の後に数字を付加してください。

例) アルカディア短期大学で2名申込みの場合

→ nkken22アルカディア1.xls

nkken22アルカディア2.xls

(2) 申込書データファイルを送信する

入力内容を最終確認後、申込書データファイルをEメールに添付して、学内担当者から協会事務局へ送信してください。

送信先：

(3) メール の 件名

「〇〇短期大学 入試広報研修会申込み」としてください。

(4) 「開封通知機能」の付加

メール送信の際は「開封通知機能」を付加してください。折り返し送信された開封通知をもって、受信確認のお知らせとさせていただきます。「開封通知機能」が付加できない場合は、メール本文にその旨を記載してください。

申込みメールを送信後、数日経過しても確認メール（開封通知）が届かない場合は、お手数ですが協会事務局までお問い合わせください。

(5) バックアップデータの保存

送信事故防止のため、申込者の責任でデータを保管してください。

4. 確認メールの受信（申込み完了）

4. 確認メールの受信（申込み完了）

協会事務局からの開封通知の受信をもってお申し込み手続きが完了となります。

確認メール（開封通知）が届かない場合は、必ず、お手数ですが下記協会事務局までお問い合わせください。

【お問い合わせ】

ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

日本私立短期大学協会〔電話 03-3261-9055 FAX 03-3263-6950〕

問い合わせ用 E-mailアドレス：koho-kenshu@tandai.or.jp

担当：事業課 金成(かなり)

以上

第10回「私立短大入試広報担当者研修会」

申込み締切期日
4月19日(月)<必着>

参加申込書

氏名	(フリガナ)	職種	
		<未選択> ▼	
所属	短期大学名	勤務年数	
		平成22年度で 年目	
	所属部署名	入試広報経験年数	
		約 年	
	学内職名	本研修会参加回数	
			回

みほん

職場連絡先	〒 :	都道府県 :	
	住所 :	お申込みは、本協会ウェブサイトより	
	電話 :	申込書ファイルをダウンロード、	
	FAX :	ご入力の上、Eメールに添付送信にて	
	メール :	お願いいたします。 @	

併設高校 :	<未選択> ▼	大短の収容定員 :	名	入試広報担当者数	
併設大学 :	<未選択> ▼	大学業務との兼務 :	<未選択> ▼	専任 :	人
専攻科 :	<未選択> ▼	学位授与機構認定 :	<未選択> ▼	兼任 :	人

設置学科・ 専攻名 及び各入学定員

参加費振込情報	金融機関名・支店名 :
	参加費振込日 :

【アンケート・連絡事項】

※アンケートの記入は任意です。但し、より充実した研修会へ向けての参考とさせていただきますので、記入できる範囲でご協力願います。

1) 入試広報業務で「今、部署として困っていること」は何ですか。
2) 入試広報業務で「今、あなたが困っていること」は何ですか。※わかりやすく具体的に記入願います。
3) その他連絡事項 例「四大併設だが分科会は短大分科会を希望」「〇〇について討議したい」等もこちらへ記述願います。